

テーマ	総合原価計算（工程別総合原価計算）				
学籍番号					氏 名

1. Y 製作所では、2 つの工程を経て製品 A を連続生産している。以下の資料にもとづき、解答欄に適当な金額を記入しなさい。

〔資料〕

① 第 1 工程

	数 量	直接材料費	加工費
月 初 仕 掛 品	3,000kg	¥125,000	¥100,000
当 月 投 入	29,500kg	¥1,500,000	¥2,105,000
合 計	32,500kg		
月 末 仕 掛 品	2,000kg		
正 常 減 損	500kg		
完 了 品	30,000kg		

② 第 2 工程

	数 量	前工程費	加工費
月 初 仕 掛 品	2,000kg	¥340,000	¥50,000
当 月 投 入	30,000kg	?	¥1,840,000
合 計	32,000kg		
月 末 仕 掛 品	4,000kg		
完 成 品	28,000kg		

（注 1） 材料は第 1 工程の始点ですべて投入される。

（注 2） 両工程とも仕掛品の加工進捗度は 50%であり、月末仕掛品原価の計算は平均法による。

（注 3） 正常減損は第 1 工程の終点で発生したものである。

第 1 工程月末仕掛品原価	170,000 円
第 1 工程完了品原価	3,660,000 円
第 2 工程月末仕掛品原価	635,800 円
完 成 品 原 価	5,010,200 円

授業の感想など	
---------	--

テーマ	総合原価計算（工程別総合原価計算）									
学籍番号									氏 名	

2. 当社では、全原価要素工程別原価計算によって製品原価計算を行っている。また、月末仕掛品原価は平均法によって計算している。次の資料に基づいて、非累加法（工程を単一とみなす計算方法）により最終完成品原価、最終完成品単位原価および月末仕掛品原価を計算しなさい。

【資料】

① 当月の生産データ

第 1 工 程			第 2 工 程		
月初仕掛品	250 個	(40%)	月初仕掛品	350 個	(80%)
当月投入	1,970 個		当月投入	1,900 個	
合 計	2,220 個		合 計	2,250 個	
正常仕損	一個		正常仕損	50 個	(100%)
月末仕掛品	320 個	(75%)	月末仕掛品	200 個	(50%)
完 成 品	1,900 個		完 成 品	2,000 個	

② 当月の原価データ

	第 1 工程	第 2 工程
月初仕掛品原価		
材料費	¥177,720	¥246,400
第 1 工程加工費	¥52,000	¥182,960
第 2 工程加工費	¥－	¥155,000
当月投入原価		
材料費	¥1,426,280	¥－
第 1 工程加工費	¥1,020,000	¥－
第 2 工程加工費	¥－	¥748,000

- ※ 材料は、第 1 工程の視点ですべて投入される。また、第 1 工程の完成品はすべて、ただちに第 2 工程の始点に投入される。
- ※ 生産データの（ ）内の数値は、加工進捗度および仕損の発生点を示す。
- ※ 正常仕損費の負担は、正常仕損の発生点によって判断している。

	最 終 完 成 品 原 価	最 終 完 成 品 単 位 原 価	月 末 仕 掛 品 原 価
第 1 工 程 費	2,509,200 円	1,254.6 円	596,160 円
第 2 工 程 費	861,000 円	430.5 円	42,000 円
合 計	3,370,200 円	1,685.1 円	638,160 円

授業の感想など	
---------	--